

走る広告塔いよいよ発進！

伊豆ナンバー一日出張窓口

十月十九日、伊豆ナンバーの交換イベントを
 韮山庁舎駐車場で行いました。この日は、事前
 に申請を済ませた車両百七十七台（普通自動車
 百一台、軽自動車七十六台）が対象。訪れた人
 たちは、自車のナンバーを取り外した後、「伊豆
 ナンバー」のプレートを受け取り、自らドライ
 バーを使って、取り付け作業を行いました。

「伊豆ナンバー」は、十月十日から伊豆の国
 市、三島市、熱海市、伊東市、下田市、伊豆市、
 函南町、東伊豆町、河津町、南
 伊豆町、松崎町、西伊豆町で実
 施され、動く広告塔として全国
 に伊豆を発信していきます。



最後に封印を行い、普通自動車
 はナンバーの取り付けが完了



自らの手で伊豆ナンバーを取り付けました

PHOTOぎやらり〜

豪州の友達がやって来た サウスグラフトン高校訪問団

十月一日〜八日まで、オーストラリア
 クラレンスヴァリーにあるサウスグラフ
 トン高校の訪問団が伊豆の国市を訪れま
 した。同高校は、旧伊豆長岡町時代、姉
 妹都市として交流を続けてきた旧グラフ
 トン市にあり、今回は、生徒九人を含む
 十二人が来日しました。

期間中、訪問団は全員ホームステイを
 体験し、市内の小・中・高校で、日本語
 の勉強や生徒との交流を深めました。
 また、みかん狩りや反射炉見学、湯ら
 つくす公園などを楽しみ、多くの思い出
 と共に帰国しました。



成福寺（四日町）では座禅を体験

集団生活を体験

通学合宿「余耕に学ぶ」

十月五日〜七日、多田公民館で、通学合宿「余耕
 に学ぶ」を開催しました。これは、県の「地域におけ
 る通学合宿推進事業」の補助を受けて行われたもの。
 地域の宿泊可能な施設に異年齢の子どもたちが寝食を
 共にしながら学校に通い、集団生活への適応力、生活
 技術等を身につけることを目的としています。

多田区の小学生21人が公民館に泊まり、集団生活
 を体験。夕・朝食作りやお風呂の「もらい湯」、地元
 の歴史・自然に関する講話を聞くなど、さまざまな体
 験を通して、地域の人たちとの交流を深めながら、集
 団生活を学びました。

市内ではほかに、8月末に韮山山木、9月中旬に南
 條、10月中旬に田原野で、通学合宿を実施しました。



夕飯作りに挑戦！親のありがたさがわかりました

自転車[※]で狩野川の風感じる 100キロサイクリング

十月一日、中島運動公園をスタート・ゴール会場として
 第7回狩野川100キロサイクリングが開催されました。

小雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、50キロ、100
 キロの両部門に合わせて過去最高となる550人が参加し、狩
 野川流域の変化多彩の風景を眺めながらサイクリングを楽
 しました。

中島運動公園では
 「鮎フェスタ2006」
 も同時開催され、昼
 食時やゴール後、参
 加者らにアユなべが
 振舞われ、冷えた体
 を温めていました。



アユの塩焼きも人気を呼びました



城山をバックにスタート

ボーイスカウト最高栄誉 菊スカウト進級章を受章



受章報告をする久保さん（左から2番目）

十月四日、ボーイスカウト韮山
 第一団所属の久保智大さん（韮
 山三年）が市長を訪れ、「菊スカウ
 ト進級章」受章を報告しました。

この日は、小学五年〜中学三年
 生対象のボーイスカウト部門での
 最高栄誉で、キャンプやサバイバ
 ル、救急法等二十八もの技術取得
 とリーダーシップを兼ね備えた人
 に与えられるものです。
 久保さんは「長くやってきた
 成果が実った証。高校生になっ
 ても続け、次の章をとるためにさら
 に努力していきたい」と語まし
 た。

部門別展示で成果発表 市文化祭 展示の部

十月十四日、十五日、市民文化祭・展示の
 部を市内3会場で開催しました。作品をジャン
 ルごとに集めた部門別開催は初の試み。多く
 の人が訪れ、作品1点1点を丹念に見てい
 ました。

一般展示会場では、茶道愛好団体などによ
 る茶席が設けられ、来場者に抹茶が振る舞
 われ、好評でした。

また、市内3つの小中学校を会場に、園
 児・児童・生徒作品展が同時開催され、こ
 ちらも多くの家族連れなどでにぎわいまし
 た。



韮山小学校体育館



大仁北小学校体育館



大仁市民会館



あやめ会館